

一般入試前期A日程2日目

日本史

I (配点 36)

次の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

[解答番号 ～]

A 縄文時代の終わり頃に、朝鮮半島に近い九州北部で水稲耕作が始まり、紀元前4世紀頃には
ア) 水稲耕作が西日本に広がり、弥生文化が成立した。弥生時代には、九州北部で朝鮮半島の影
響を受けた支石墓がみられるほか、に倭で百余国が分立していた紀元前1世紀に、
一部の国が、当時の中国王朝が設けた四郡の一つであるに使者を送っていたことが
記されており、倭が朝鮮半島と交流を持ってきたことがうかがわれる。

4世紀になると、朝鮮半島北部に勢力を拡大した高句麗がを滅ぼした。朝鮮半島
南部は小国連合からなる3地域に分かれていたが、4世紀中頃に、の地に百済が成
立したのを皮切りに、それぞれの地域に国家が形成され、倭は加耶(加羅)諸国と
密接な関係を持っていた。カ) 4世紀後半に高句麗の南下が進むと、朝鮮半島南部の国と結び、
倭も高句麗と戦った。キ) 5世紀以降、大陸の戦乱を逃れるように朝鮮半島や中国大陸などか
ら人々が渡来し、多くの文物を伝えた。

(1) 下線部ア)に関連して、弥生時代の農業に関する記述として最も適当なものを、次の①～

④の中から1つ選べ。

- ① 弥生時代初め頃には、湿地を利用した湿田に、粃を直播することが多かった。
- ② 銅戈などの鉄製工具を用いて、木鋤・木鋤などの木製農具が作られた。
- ③ 稲の収穫では、石包丁を使って根元から刈り取る根刈りが行われた。
- ④ 水田跡を伴う遺跡の分布から、東日本では水稲耕作は行われていなかった。

(2) 空欄・に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～

④の中から1つ選べ。

- ① イ 『漢書』地理志 ウ 帯方郡 ② イ 『漢書』地理志 ウ 楽浪郡
- ③ イ 『後漢書』東夷伝 ウ 帯方郡 ④ イ 『後漢書』東夷伝 ウ 楽浪郡

(3) 空欄・に当てはまる語句と記述の組合せとして最も適当なものを、次
の①～④の中から1つ選べ。

- ① エ 辰韓 オ 安東大將軍の称号を認められた
- ② エ 辰韓 オ 鉄資源と加工技術を求める
- ③ エ 馬韓 オ 安東大將軍の称号を認められた
- ④ エ 馬韓 オ 鉄資源と加工技術を求める

(4) 下線部**オ**に関連して、鎌倉時代の軍記物語および絵巻物に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **13**

- ① 仏教的無常観に立って、源平の争乱を平氏の興亡を中心に描いた『平家物語』が著された。
- ② 陸奥の豪族安倍頼時が起こした反乱である前九年合戦を題材に『陸奥話記』が著された。
- ③ 後白河天皇と崇徳上皇の対立をきっかけに起こり、崇徳上皇が配流された平治の乱を題材に『平治物語絵巻』が描かれた。
- ④ 安達泰盛は蒙古襲来（元寇）の際の自身の武功を子孫に伝えるために『蒙古襲来絵巻』に描かせた。

(5) 下線部**カ**に関連して、鎌倉時代の彫刻と作者の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **14**

- ① 興福寺天灯鬼・竜灯鬼像－運慶
- ② 興福寺無著・世親像－快慶
- ③ 東大寺僧形八幡神像－康弁
- ④ 六波羅蜜寺空也上人像－康勝

B 幕政を主導していた松平定信が **キ** などで將軍徳川家斉と対立して失脚すると、家斉が將軍として、讓位後には大御所として自ら政治を行った。家斉は緩慢な政治を行ったため、**ク**農村では貧富の差が拡大して百姓一揆などが相次ぎ、治安の悪化が問題化した。国内外の混乱と危機は「内憂外患」として、幕府の政治課題となった。

緩慢な政治により風俗も華美になり、幕府の財政が悪化する一方で、経済の活発化や三都の繁栄を背景に、**ケ**庶民を含めた町人を担い手とする文化が発達した。また、国内外でさまざまな問題が明らかになった時期でもあったため、諸問題への対応を模索すべく **コ**新しい学問や思想が生まれたほか、天文方高橋景保の建言によって蘭書・外交文書の翻訳を担う機関として **サ** が設置された。

(6) 空欄 **キ** ・ **サ** に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **15**

- ① **キ** 紫衣事件 **サ** 蛮書和解御用
- ② **キ** 紫衣事件 **サ** 洋書調所
- ③ **キ** 尊号一件 **サ** 蛮書和解御用
- ④ **キ** 尊号一件 **サ** 洋書調所

(7) 下線部ク)に関連して、大御所時代の社会に関する記述として最も適当なものを、次の

①～④の中から1つ選べ。 16

- ① 関東では治安が悪化したことを受けて関東取締出役が設置され、無宿人や博徒の取り締まりなどにあたった。
- ② 無宿人の増加と治安の悪化に対応して、職業訓練・社会復帰のための授産施設として人足寄場が設置された。
- ③ 天明の飢饉に際して、幕領である甲斐郡内地方の百姓らが世直しを求めて一揆を起こした。
- ④ もと大坂町奉行所の役人だった大塩平八郎の蜂起に呼応して、「大塩の門弟」と称する陽明学者の生田万が柏崎で蜂起した。

(8) 下線部ケ)に関連して、江戸時代に庶民に人気を博した文学作品に関して述べた次の文

I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 17

- I 柳亭種彦は、『源氏物語』の舞台を室町時代に移した『修紫田舎源氏』を著した。
- II 山東京伝は、『曾我物語』に題材をとって、遊里の実情を『仕懸文庫』に著した。
- III 井原西鶴は、勤勉・儉約な町人の話などの短編からなる『日本永代蔵』を著した。

- ① I - II - III ② I - III - II ③ II - I - III
- ④ II - III - I ⑤ III - I - II ⑥ III - II - I

(9) 下線部コ)に関連して、本多利明の著書『経世秘策』の記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 18

- ① たとへ右等の事之無く候共、御打払に相成候はゞ、理非も分り申さざる暴国と存じ、不義の国と申し触らし、礼儀国の名を失ひ、是より如何なる患害、萌生仕り候やも計り難く、……。
- ② 貪り取ル者無レバ貪ラルル者モ無ク、轉定モ人倫モ別ツコト無ク、轉定生ズレバ、人倫耕シ、此ノ外一點ノ私事無シ。是レ自然ノ世ノ有様ナリ。
- ③ 細カに思へば江戸の日本橋より唐、阿蘭陀迄境なしの水路也。然ルを此に備へずして長崎にのミ備ルは何ぞや。
- ④ 万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取て日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足の仕方なり。

(6) 空欄 **26** ～ **28** に当てはまる適切な語句を**解答群2**からそれぞれ1つずつ選べ。

解答群2

- | | |
|--------------|---------------|
| ① 石原莞爾 | ② 北一輝 |
| ③ 津田左右吉 | ④ 矢内原忠雄 |
| ⑤ ロンドン海軍軍縮条約 | ⑥ ワシントン海軍軍縮条約 |

(7) 下線部**オ**に関連して、満州事変に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **29**

- ① 柳条湖事件の直後から、「満蒙の危機」をとなえていた第2次若槻礼次郎内閣は軍の行動を支持した。
- ② 満州事変勃発後、桜会の橋本欣五郎らを中心に現内閣を倒して軍部政権を樹立しようとする三月事件が未遂に終わった。
- ③ 満州事変後に激しい排日運動が展開された上海では、日本人僧侶殺害事件をきっかけに日中両軍が軍事衝突した。
- ④ 国際連盟総会では、リットン報告書をもとに中国を満州事変以前の状態に戻すことを要求する決議が採択された。

(8) 下線部**カ**に関連して、昭和戦前期の学問・思想・文学への弾圧に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **30**

- ① 『太陽のない街』などの著書で知られる小林多喜二は、共産党員として活動中に逮捕され、拷問を受けて死亡した。
- ② 大内兵衛・有沢広巳などの労農派の経済学者たちが治安維持法違反で検挙される第2次人民戦線事件が起こった。
- ③ 火野葦平が自身の従軍経験をもとに著した『生きてゐる兵隊』は、日本軍の残虐行為を描いていたことから発禁処分を受けた。
- ④ 谷崎潤一郎が連載していた『刺青』は、内容が時局にふさわしくないとして、連載が禁止された。

